



経営管理委員会 会長
森 映 一



代表理事 理事長
山 下 学

皆さまには、平素より私ども J A 愛媛県信連（愛媛県信用農業協同組合連合会）をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当会は、昭和23年の設立以来、農業金融における県域組織として、また、地域の発展を支援する地域金融機関として安定的経営を続けてまいりました。これもひとえに会員はもとより関係機関、地域の皆さまのご理解とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、我が国経済は海外経済の成長を背景に緩やかな回復基調を維持しており、先行きにつきましても、2年後の東京五輪開催に向けて、インフラ整備の本格化や首都圏の再開発により投資拡大が見込まれております。

一方で、中国経済の減速や北朝鮮情勢を巡る地政学リスクの高まりなどが懸念材料として意識され、予断を許さない状況にあります。

また、J Aバンクを取り巻く環境につきましても、依然として厳しい状況にありますが、平成31年5月、「農協改革集中推進期間」の期限までに、県内 J A が組合員・利用者のみならず、地域の皆さまからも評価していただけるよう、自己改革の完遂に向け、邁進している状況にあります。

こうしたなか、当会では、平成29年度は中期経営計画（平成28～30年度）の中間年度として、「安定的収益還元機能の強化」、「J Aバンクえひめ本部機能の強化」、「J Aバンク自己改革の実践」を図るとともに、県内12総合 J A と当会で構成する「J Aバンクえひめ」の一員として、J Aバンク自己改革の実践に加え、農業融資の拡大、J A貯金2兆円早期突破に向けた貯金増強に取り組んでまいりました。

今後も「J Aバンクえひめ農業所得増大・地域活性化応援プログラム」を活用した農業振興・地域振興を進めるとともに、様々な金融サービスの提供により地域におけるインフラ機能の発揮に努めてまいります。

J Aとともに総力を結集し、地域の皆さまにより一層必要とされる J Aバンクえひめを目指し、役職員一丸となって邁進する所存でございますので、引き続きご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成 30 年 7 月